

2025年10月8日

再保険に関する社内研修の実施について

大東建託グループの少額短期保険ハウスガード株式会社（代表取締役社長：白井 孝和、所在地：東京都港区）は、2025年9月24日にトーア再保険株式会社（※）を講師に招き、再保険に関する社内研修を実施いたしました。

この研修は、全3回にわたって実施し、最終回にあたる今回は再保険の会計的側面および再保険市場について学びました。保険会社と再保険会社間における取引への理解を深めるため、再保険計算書を使用したケーススタディも行いました。研修後のアンケートでは、研修内容について理解できた、ケーススタディにより理解が深まった、今後の業務に役立つと思うなど、研修の成果を実感できる回答が多数寄せられました。

1. 研修の目的

少額短期保険業界において、リスク管理の向上と経営の安定化を図るために、再保険の重要性はますます高まっています。私たちは、社員全員が再保険の知識を深めて業務に役立てることを目指し、この研修を企画しました。

2. 日時・場所

日 時 : 2025年9月24日（水）10:30 ～ 12:00
場 所 : 東京都港区港南2-16-1
少額短期保険ハウスガード株式会社 本社 事務所内

3. 参加者

役員、社員（臨時従業員、派遣社員を含む）計31名

4. 研修内容（全3回）

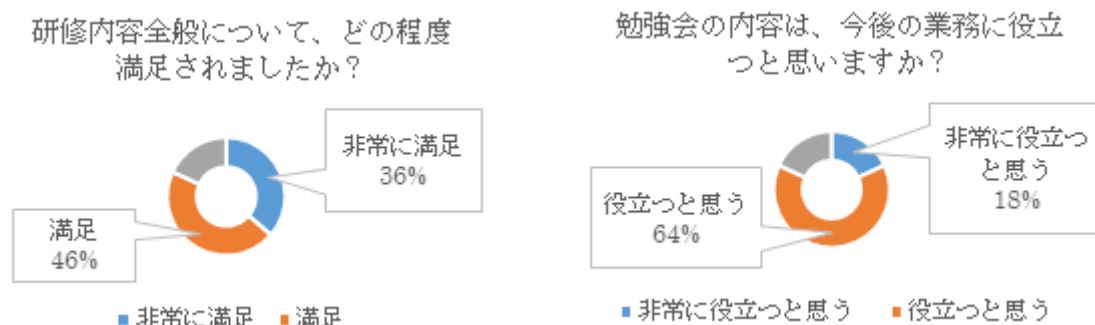
第1回（5月28日開催） 再保険の歴史および基礎的な仕組み・用語の理解 実施済
第2回（7月23日開催） 当社再保険契約から見る再保険の仕組みの理解
第3回（9月24日開催） 再保険の会計的側面および再保険市場の理解

5. 研修風景



6. 参加者の反応（アンケート）

今回も前回に引き続き専門的な内容となっており、やや難しかったと感じる参加者もいましたが、参加者全体の82%から「非常に満足」、「満足」など高い評価を受けました。また、今後の業務に役立つと思うかの質問については82%から「非常に役立つと思う」、「役立つと思う」などの前向きな意見が寄せられました。



今回の研修全体（全3回）を通しての感想（抜粋）

- 講師の方の熱心な説明により、基本的な再保険の仕組みが把握できた。
- 実務に即した説明が多く、再保険の仕組みや役割について体系的に学ぶことができた。
リスク分散の考え方や契約形態の違いについての理解は今後の業務にも活かせると感じた。
- 初回は理解しやすかったが、徐々に難易度が上がっていき、すべてを理解するというよりも、このような流れがあるという大枠を捉えることができた。
- ソルベンシー・マージン比率は200%以上が基本であり、その維持には再保険会社との密接な関係が不可欠であることを学んだ。再保険が会社の健全性を支える重要な仕組みであることを改めて理解できた。

7. 今後の社内研修について

当社では、少額短期保険事業に関連する専門性の高い内容や、業務の前後・背景にある論点を取り上げ、研修や勉強会を実施しています。今年度は、今回の再保険研修に加え、保険募集管理態勢についても専門家を招いた勉強会を予定しています。これらの取り組みにより、社員一人ひとりのスキル向上を図り、その成果をお客さまに提供するサービスの向上につなげてまいります。

※トーア再保険株式会社について（2025年3月31日時点）

名称（商号）	トーア再保険株式会社
英文名称	The Toa Reinsurance Company, Limited
本社	〒101-8703 東京都千代田区神田駿河台三丁目6番地の5 (03) 3253-3171(大代表)
設立	1940年10月15日
資本金	50億円
取締役社長	松永 祐明
従業員数	325名
総資産	6,693億円
正味収入保険料	1,760億円
主な営業種目	火災保険／海上保険／自動車保険／賠償責任保険／生命保険／ペット保険等の再保険
会社HP	https://www.toare.co.jp/

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
少額短期保険ハウスガード株式会社
TEL：03-6718-9240